



ラフディ

# とっておきの 樹氷鑑賞ツアー

- 白銀の世界にそびえる樹氷を、  
往復リフトに乗って目の前に眺める -

体力度：★☆☆☆☆簡単

2026年1月10日(土)  
～3月15日(日)

ご予約はこちら▶▶▶



## とっておきの樹氷鑑賞ツアー

-白銀の世界にそびえる樹氷を、リフトに乗って目の前に眺める特別なひととき-



今年は初めて、蔵王ライザワールド・下りリフトの乗車が可能に！

幻想的な樹氷原地帯を間近に感じながら、蔵王連峰ならではの特別な気象条件と、オオシラビソが織りなす“世界に誇る自然の芸術”を存分に堪能いただけます。ここでしか出会えない冬の奇跡を体感してください。

### おすすめポイント

- ① リフトで楽々！混雑なく樹氷鑑賞
- ② 樹氷の目の前まで行けて、細部まで観察
- ③ 防寒用服装がなくても OK！レンタルつき

### 日 程

2026 年 1 月 10 日(土)～3 月 15 日(日)

### 行 程

12:30 蔵王ライザワールド・レストランに集合  
係員とともに、リフト 2 本を乗り継いで  
雪の森を進み、神秘の樹氷原へ。  
目の前にそびえる樹氷を間近で  
ご覧いただきながら、約 20 分じっくりと  
鑑賞します。

幻想的なひとときを過ごした後は、  
リフトで下山。

13:30～14:00 蔵王ライザワールド到着

🚌 蔵王シャトルバス利用が便利！

運行期間: 1 月 10 日～3 月 10 日

〈往路〉かみのやま温泉観光案内所前 11:20 発→  
蔵王ライザワールド 11:55 着

〈復路〉蔵王ライザワールド 14:15 発→かみのやま  
温泉観光案内所前 14:50 着

詳しくはこちら



### 旅行代金(税込)

大人(中学生以上) 5,250 円  
小人(小学生) 2,250 円  
未就学児(0 歳～6 歳) 無料

[料金に含まれるもの]

・リフト往復乗車代

〈ウエアレンタルつき〉

大人(中学生以上) 7,720 円  
小人(小学生) 4,720 円

[料金に含まれるもの]

・リフト往復乗車代

・ベンチコート、ブーツ、グローブレンタル料

### 注意事項

- ・1 名様より受付。
- ・現地係員が同行します。
- ・樹氷原は極寒の場所です。防寒着、手袋、帽子、ブーツが必要です。用意がない場合は、ウエアレンタルつきプランをご利用ください。
- ・団体行動を守り、単独行動は絶対にしないでください。
- ・歩行の際は、スキーヤー、ボーダーにご注意ください。
- ・悪天候でリフトが運休の場合は中止となります。

公式サイト URL: <https://kaminoyama-spa.com/>

Instagram: @kaminoyama\_rhapsody



旅行条件書(要旨) ※お申込みいただく前にお読みください。

この旅行は、一般社団法人上山市観光物産協会(以下「当社」)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます)を締結することになります。●当社の定めた必要事項を記入した申込書を店頭にてお申込みを行う他、電話、郵便、FAX その他の通信手段による旅行申込みをいただき、当社が契約の締結を承諾したとき、成立するものとします。●旅行代金には旅行日程に明示した利用運送機関の運賃・料金・消費税を含んでいます。なお、これらの経費はお客様の都合により一部利用されなくても払い戻しはいたしません。当社はお客様が企画旅行参加中に、急激かつ偶然な外来の事故により生命・身体または手荷物に被った一定の損害について旅行業約款特別補償規定により、一定の保証金及び見舞金を支払います。●旅行契約の成立後、お客様の都合で旅行を取消される場合、旅行代金に対してお一人様につき下記の取消料を申し受けます。

旅行開始日の前日から起算して前日まで	当 日	旅行開始後の解除・無連絡不参加
無 料	100%	100%

●当社は旅行申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、お申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービス受領のための手配に必要な範囲内で利用させていただきます。その他当社では提携する団体のサービス、キャンペーンのご案内等にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。

【お申込み・旅行企画・実施】 一般社団法人 上山市観光物産協会 ☎023-672-0839

FAX: 023-673-3622 999-3134 山形県上山市矢来 1-2-1 受付時間: 9:30～16:00

山形県知事登録旅行業第 2-290 号 全国旅行業協会正会員 国内旅行業務取扱管理者: 油井紀子